

The wave traveling all over the world

# アツ・ヘルツ

4

2024年  
1月



## 目次

凡愚のつぶやき	3
お寺の豆知識	7
お寺の掲示板	8
教えて！ フダイシさま	10
くらしの知恵箱	12
こども部屋をノック	14
お坊さん WITH ナンタラ	16
仏像もっと知りたいぞう	18
門徒さんのおたより	20
煩惱ロボット メカムラケン	22

「テラ・ヘルツ」は、お寺の「寺」と未知の可能性を秘めた周波数の単位「テラヘルツ」をかけたものです。この冊子が目には見えない小さな波となって、みなさまの心に届いたら.....そんなふうに願っています。

# 凡愚のつぶざき

## 浄土からの風

義弟から義父の法事の日程調整の連絡をもらった。

なんとなく懐かしくなって義父の書いた文章をあさる。

その中から当時、自分が義父に対して書いていた文章がでてきた。



平成25年4月の日記

積極的に書く気持ちになれないが、書かないと前に進まないのを書くことを決心した。スキルス癌という特殊な病により義父が亡くなった。私は父のことを僧侶として尊敬していた。病の中、おそらく立っているのもやっとの状態で自動（90分のお説教を1日2席7日間）した。

巷ちまたに安く流れている「いのちをかける」という言葉に初めて真実味を感じた瞬間だった。63歳という年齢。今の社会の枠に当てはめれば短命と言われるのかもしれない。しかし、父は自分の人生について「丁度いい」との言葉を残して息をひきとった。

御法義をいただければ、いつ、どこで、どんな終わりを迎えようとも、いのち終わったそのとき、そのまま浄土に生まれ仏と成る人生をいたたく。

父の著書『平和の光』からの一文。

「死ぬからこそ、この私のただ一度の人生の意味を問わなければならぬのです。仏教では明日とか、1年とか、10年とかいう単位でモノを考えません。人生という一つの大きなカタマリをこそ問題にするのです。その時、数ヶ月の人生も百年の人生も同じとなります。要は意味が有ったか、無かったか、つまりはゼロかイチの二つに一つなのです。」

人としての想いの上からは「ああしたい」「こうしたい」「あれが見たい」「これが見たい」と思い残すことはたくさんあっただろう。しかし、このいのちを包んでくださる如来のはたらきの中で生活していたから、どこで倒れても大悲だいひの中という救いの法を肌で感じながら生きていたから、「苦しく悔しくはあっても虚しくはない」境涯を恵まれていたに違いない。

父の死を通して、死により生が完成することを学んだ。人生の最後の1ピースは死なのだ。そして、生き様という遺産をいただいた。どんな状況であろうと御法義をたていと経糸に生き抜いていくという生き様。

現在の心境は「悲しいけどまた会える」よりも「また会えるけど悲しい」だが、悲しいなりに精一杯恵まれた日々を生き抜いていこうと思う。

父の往生から10年以上の時が流れた。正直、父を思い出す日は減って、当時の想いは風化していく。しかし、煩惱で充満された部屋にフツと浄土からの風が吹いてくることがある。その風に触れてなんとなく浄土を想う私がいる。死んでもなお私を育ててくれているんだな。そんなはたらきに合掌。

安楽浄土あんらくじょうどにいたるひと  
 五濁悪世ごじよくあくせにかへりては  
 釈迦牟尼しゃかむに仏にぶつのごとくにて  
 利益衆生りやくしゆじやうはきはもなし

親鸞聖人 『浄土和讃』

# お寺の

## 豆 知 識

お布施ってなんですか？

布施には、法施（ほうせ）、財施（ざいせ）、無畏施（むいせ）の3つがあります。布施という言葉は、サンスクリット語の「ダーナ（あまねく施す）」からきており、檀那（だんな）や檀家（だんか）という言葉も、ここからきています。

- 法施……………仏法を説くこと
- 財施……………財物を施すこと
- 無畏施……………恐怖を取り除くこと

僧侶の「法施」に対し、御門徒が「財施」を施してくださっているということです。布施は「施す人」と「施される人」、そして「施しもの」の3つが、共に清浄でなければならぬとされています。

### 仏さまにお供えするとき

「自分」から見て、表書きが読める方向にしてお供えする。



### 相手にお渡しするとき

「相手」から見て、表書きが読める方向にして差し出す。



## お寺の掲示板

今年一年

よろこんだり

悲しんだり

みんな 尊い

ご縁です

千里行っても大地の上  
万里行っても大地の上  
千里行っても大悲の中  
万里行っても大悲の中

昨年も、出会いあり、別れあり、

悲喜こもごもの一年でした。

江戸時代の歌に「春は三月花の頃、  
死なぬ子三人皆孝行、使っても減ら  
ぬ金百両、死んでも命のあるように」  
とあります。①季節は、暑いのはい  
や、寒いのもいや、花の咲く陽気な  
春を望み、②子供は三人、それも親  
より先に死なず、なおかつ親孝行で、  
③経済的にも苦勞することなく、④  
死んでも命のあるようにと、できな  
いものばかりの願ねがいです。



仏法の基本は「人生は苦である」すなわち「人生は思い通りにならない」ことです。いつまでも若く元気でいたいと思っても、次の仙厓せんがいさんの歌のように齡よわいを重ね、やがて、いのち尽きていくお互いです。

しわがよる、ほくろができる、腰曲がる、頭がはげる、ひげ白くなる

手はふるう、足はよろける、齒はぬける、耳は聞こえず、眼はうとくなる

身に添うは、頭巾、襟巻き、杖、めがね、たんぼ、おんじゃく、しゅびん、孫の手

その私を「いつでも、どこでも」掬おさめとっていく南無阿弥陀仏の教えの中に老病死をこの身に受け、いろんな方と出会い・別れ・喜んだり悲しんだりしながら、いただいた「人生」を力一杯生きていくのです。

前住職 村上 充生

教えて！

フダイシさま

●フダイシさまは永照寺の経蔵の中にいて、  
たくさんの経典が収められた輪蔵をお守りしています。



健康診断で肝臓の数値が悪く、妻からお酒を制限されています。  
どうすれば妻に怒られずに、たくさん飲むことができますか？  
(60代男性)



答えにくい質問じゃな。亡くなったお父さんの遺影の前にお酒を  
注いで、「今日は親父と一杯やるんだ」と一人お酒を飲む。「親父、

飲めねえのか。俺が代わりに飲んでやる」と遺影の前に注がれたお酒を飲む。こんな方法で、たくさん飲んでいる人がいたな。最後は祖父母の遺影まで並べて、その前にお酒を注いで飲み、「おばあちゃんお酒飲まないでしょ。いい加減にしなさい」と怒られたとか怒られなかったとか…。まあ、「お酒をあまり飲まないように」という言葉はオヌシの体を心配してのことじゃ。無理して飲むより、心配してくれる人の気持ち大切にされた方がいいのかもしれないぞ。

●フダイシさまへの質問を募集中！

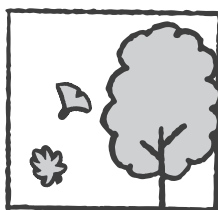
身近な悩みや疑問などをお気軽に送ってください。詳細は最後のページへ

くらしの



知恵箱

残りの人生をどう生きるか



残された人生のことを「余生<sup>よせい</sup>」と呼びます。平均寿命信者は、「おおよそ80歳ー現在の年齢<sup>||</sup>余生」という数式を基に残りの人生を計算しま

す。しかし、それは本当にあてになるのでしょうか？

仏教には「生死<sup>しようじ</sup>」という言葉があります。「迷い」との意味もありますが、一つの味わいとして次のように考えることもできます。

生と死は別々のものではなく、葉っぱの表裏<sup>おもてうら</sup>のように一体になっている。一年生きたということは一年死んだ。つまり、過ぎ去った過去や来ることが不確かな未来に固執しすぎるのではなく、「一瞬の連続」が人生だという考え方です。

【一瞬十一瞬十一瞬…】という、引き算から足し算への変換です。「我が人生に余生というものなし」と豪語しながら、余生を生きってみてはいかがでしょう（笑）

## こども部屋をノック

いのちはつながっている

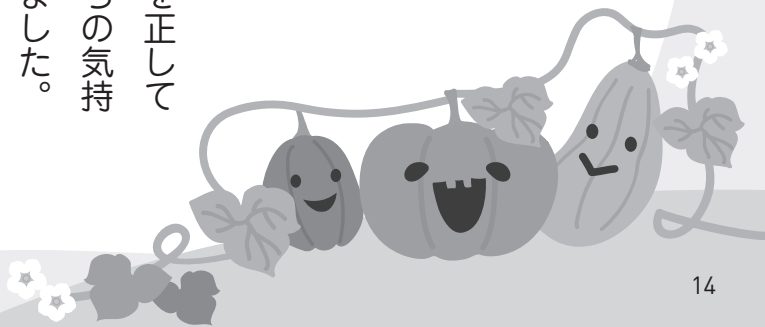
「このパンプキン野郎！」

お寺の裏にあるカボチャ畑で大喧嘩が始まりました。

住職は急いで畑へ向かい、大声で叱りました。

「こら、カボチャたち、**喧嘩をやめて**正座しなさい」

俺らに正座？と思いつつも、カボチャたちは根っこを正して座りました。ひとときの間座っていると、カボチャたちの気持ちが悪くなりました。ひとときの間座っていると、カボチャたちの気持ちが落ち着いてきました。そのとき住職は静かに言いました。



「さあ、みんな自分の頭に手をやってごらん」

カボチャたちはおのおの自分の頭に手をやります。

「あれ、へんてこなものがついているぞ。一体なんだろう?」  
手の先をずっとたどっていくと、どうしたことでしょう。一本の蔓つるにみんなつながっているではありませんか。

これは不思議。じつはみんなつながっていて、たった一つの「いち」を生きていたのです。「それなのに喧嘩していたなんて…」  
その後カボチャたちは、喧嘩しそうになるとつながっていることを思い出し、少し控えめに喧嘩のうり瓜買うりいいをしたそうです。

# お坊さん WITH ナンタラ

## お坊さんと虫

● 毎回ランダムにテーマを選び、エピソードを語ってもらいます。

子どもの頃、ゴキブリ嫌いの私は「ゴキブリ退治団」というグループを作りました。私の命令に従い、年下の子どもたちがゴキブリを殺します。「害虫を殺すことは素晴らしい」と得意になっていた矢先、母親にこっ





ひどく叱られ、トイレに閉じ込められてしまいました。

暗闇の中で考えました。「生き物を殺したのが悪かったのか」「ゴキブリを殺したのが悪かったのか」「他人に殺させたのが悪かったのか」「殺し方が悪かったのか」：今でも答えはわかりません。

人間はいのちを奪いながら生きていく動物です。「生きることが正しい」と思ったとき、殺すことは当たり前になります。「多くのものに許されて生きている」と気付いたとき、無駄にいのちを奪うのは恥ずかしいことだと感じるようになります。母はそのことを教えてくれたのかもしれません。それとも、ただ害虫（むし）の居所が悪かったのかな。

いるとは限らない！／

てんとうき      りゅうとうき      りゅうぞう  
天燈鬼・龍燈鬼立像



▲ 天燈鬼

## 仏像もっと 知りたいぞう

最近もっとも目を離せないのが「邪鬼」の存在です。邪鬼は仏教美術では四天王像の足下に踏まれた姿で表されることが多いのですが、踏みつけられることなく活躍している邪鬼もいます。興福寺にある国宝の天燈鬼・龍燈鬼立像です。邪鬼としては非常に珍しく、独立した像となっています。肉体の写実的な表現と力強い作風で、鎌倉彫刻の傑作の一つとされます。

## 悪者だから踏まれて 邪鬼界のスターコンビ



奈良国立博物館名誉館員  
西山厚さん

仏法を犯す悪鬼である邪鬼は、四天王像の足下に踏まれた姿が多いですが、悪者だから退治されるというわけでもないんです。もしかしたら四天王が遠い守護地を見わたせるように、台となっていてあげているのかもしれない。



興福寺の僧  
多川俊映さん

足を踏ん張る姿に、仏前に灯明をささげるとい重要な役を務める懸命さが伝わってきます。厳格な仏像配置の決まりがある中にユニークな邪鬼を置く。当時の僧たちの柔軟な姿勢に感心します。



▲ 龍燈鬼

# 門徒さんのおたより



墓じまい (90代男性 北九州歌人協会顧問)

一昨年の夏、墓じまいして、お骨を永照寺の納骨堂に移した。思えば、地区のご先祖のお墓（江戸時代のもももあった）を集約して60年。お盆やお彼岸にはかかさずお参りをしてきた。だが、歳月の経過とともにお墓のシミや汚れが増え、側壁は壊れ、老齢のためお参りもままならなくなかった。

娘二人は他家へ嫁ぎ、お墓の世話も望めないと思つての決断であつた。

数多く並んでゐる墓碑の中に、うちのお墓のあつた所だけポツンと空いている。許されればそこに歌碑を建てたいと思つてゐる。

「中井に生まれ中井に育ちし我が身なれふるさとの風こころして吹け」

演劇のさなかに (50代女性)

父も母も仕事中に亡くなりました。私は演劇をしているので、穴を空ける事ができず実家に駆けつける事ができなかつたのです。

父の時は、開演前に家族から「もう間も無く」というメールが入り、誰にも言わず何事もなかったかのよう<sup>う</sup>に芝居をし、楽屋でみんなで笑い、着替えたあとトイレに入っておんおん泣きました。

母の時は、終演後に「もう息をしていないみたい」と聞き、当分巡業

は続き帰省は叶わず、神戸にいたので母の好きだったステーキを奮発して、ポロポロ涙を溢こぼしながら食べました。

後で肉を食べた事を滅多に怒らない兄に叱られました。パパ、ママ、明日もみんなに笑顔を届けたいから今日ももう少し頑張るよ。笑顔を頂けると私も元気になるよ。体力勝負、ご飯もちゃんと食べるよ。ありがとうね。

# 煩惱ロボット メカムラケン



## 編集後記



1号より何気なく登場してきたメカムラケン、そろそろ読者のみなさまにもなじんできた頃でしょうか？ 今号の表紙には、今の人や昔の人、ネコやロボット、妖怪が登場していますが、時代が移り変わろうと生きとし生けるものすべてが「いのち」。メカムラケンもそんな想いから誕生したキャラクターです。目に見えないものから人の手で生み出したものまで、愛着をもって接してきた人々の心を映し出す存在として……。みなさまに愛されますように。

●「テラ・ヘルツ」は、みなさまからのおたよりやご意見感想を募集しています。以下のQRコード・ハガキ・FAX・メールなどから、お気軽にお送りください。

住所・名前・電話番号・年代・性別を  
ご記入ください

〒803-0814

福岡県北九州市小倉北区大手町16-16

永照寺 テラ・ヘルツ係

Fax : 093 - 591 - 4989

E-mail : [tera.hertz.book@gmail.com](mailto:tera.hertz.book@gmail.com)

スマホで  
簡単



---

## テラ・ヘルツ 4

発行 令和6年1月1日

発行 永照寺

執筆 村上慈顕、村上充生

編集 青木紀子

デザイン・イラスト 南佳奈江

---

\*「テラ・ヘルツ」3号の内容の一部に誤りがありました。

謹んでお詫びを申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

p6 論には→釈には p19「阿弥陀経」→「正像末和讃」

